

毎月病院の インフォ 配布!	年間予防スケジュール
1月	 混合ワクチン接種 (年1回) ワクチン時には 全身チェックを 致します!
2月	 狂犬病接種 (年1回) ワンちゃん はお忘れなく!
3月	☆1～3月は連続3年以上予防来院で スケーリング割引あり!
4月	☆新しい病院新聞を 配り始めます ☆フィラリア 検査開始!
5月	春の健康診断
6月	日本一 お得な 健診なの かも?
7月	ノミ・ダニ予防 フィラリア予防
8月	☆お盆休みはあり ませんよ!
9月	☆来年のカレンダー を配り始めます
10月	秋の健康診断
11月	春忘れた方 春の続きに
12月	☆年末年始の休みは 1・2日のみです!

★予防、フードでポイント進呈! 貯まれば500円割引に!

★予防薬のおまとめ購入には個数プラスのオマケあり!

今年から年間お得パスポートが配られます!

- ①年間の病院の流れが分かる表が載っています。駐車場案内も分かり易いと思います。
 - ②フィラリア・ノミダニ予防1種につき、毎月「爪切り・臭腺しぼり」が1種ずつ無料になります!
 - ③お誕生日月には更に耳掃除と全身チェックが無料です(誕生日不明は任意の月でOKです)!
 - ④春秋の血液検査付の健康診断を受けた時には更にエコー・レントゲンの検査を各1千円割引!
 - ⑤連続3年以上予防(何でも)の方は更に感謝を込めて以下の3つの特典を特別にお付けします。
 - *コインパーキングの補助(1回500円まで、要領収書)
 - *週3回を超える連続来院は以後は再診代半額、往診の初回をお試しとして半額!
 - *1～3月のスケーリングは3000円割引!
- ☆個別にしていた幾つかのサービスチケットは統廃合されますので、ご注意下さいね。

ゆう動物病院新聞

平成25年号

発行 ゆう動物病院

〒601-8432 京都市南区西九条東島町58-103

TEL. (075)681-5300 / FAX. (075)681-5300

URL: <http://www11.plala.or.jp/>

早いもので今年に病院は十周年を迎えます。皆様とスタッフのお蔭でここまでたどり着けました。本当にありがとうございます。通過点とは言え、感慨深いものがあります。たった十年でも個人的にも色々あり、世の中は大震災など激動がありました。十年は短いようで長い歴史です。

ずっと当院に通って頂いている方も沢山おられますが、今日が初来院の方も居られると思います。今回の新聞はそれを念頭に病院の十年の歴史を「どう改善し発展させてきたのか?」が分かる様に、まとめてみました。また今年から病院周囲の散歩情報などもまとめて地図にし、毎年バージョンアップが図れるようにしています。新聞の文章量が多かったのを全体に視覚的な方向に改善しています。色々変えていきますが、マンガは好評なので残しておきます(笑)。

病院そのものは今年から更に経験豊富な板橋先生を常勤として、そして若手の小濱先生を非常勤として迎え、待ち時間の減少と診療レベルアップに努めます。僕自身は皮膚科認定医として研鑽を積み、より皆様のお役にたてる様に努力をします。好評のポイントカードに加えて、十周年を機によりお得な年間パスポートや+1チケットを充実させ、予防を楽しくお得にします! その様にソフト面の充実に努めつつ、更に病院の設備等のハード面も切れ目なく発展させます。

今年には伊勢神宮の式年遷宮の年でもあります。常若の為に二十一年でお社等を全く新しく建て替えるのですが、この病院も次の十年でそれ位の新しい発展ができる様に頑張ります!

院長 森本真一郎

ゆう動物病院 10年の年表 (自分と自分のペットさんの歴史をも比較してみて下さいね)

2007	2006	2005	2004	2003	
・シスメック血球計算機導入 ・眼科器具、点滴機増加 ・空気清浄器、タワー型扇風機、カーボンヒー	・多用途モニターカメラ導入 ・パソコン、バリカン、滅菌器械最新に ・手術道具類変更(器具、糸の種類)	・色々と器具購入をする(歯科、眼科、整形外科、緊急疾患のセット、EMSマシン) ・イス・クッションの改善 ・駐車場の増加 ・全自動集中治療室設置	・高周波ラジオ波メス、CO2測定器、骨折の器具、しつけ用無料貸し出しの本、DVDを色々と購入	・ゆう動物病院開業 ・身重の嫁さんが受付にいました(出産当日まで仕事……) ・動物看護士さんは2名からスタート、当然獣医は独り!	ハード(施設など)の変化 ソフト(中身・システムなど)の変化 世の中の出来事
・皮膚科認定医への始動 ・獣医師1名増加(出川先生) ・慢性病薬価一部、注射麻酔、レボリユーシオン、	・皮膚、心臓、発作の慢性病の薬価値下げ ・フィラリアチュアブルを新製品にし、値下げ ・専門本購入 ・手術方法・手術記録体制の改善 ・捨て猫補助開始 ・使用可能カードの種類増加 ・オリジナルカレンダー配布開始 ・院長直通アドレスを作る	・獣医師1名増員 ・皮膚、心臓の慢性病の薬価値下げ ・フィラリア薬を腸管寄生虫も効くタイプにし、値下げ ・犬のワクチンの種類変更、値下げ ・院内プリントを増やす ・定期購読雑誌を増やす ・専門本購入	・動物看護士増員 ・専門誌に症例発表	・日本郵政公社営業開始 ・六本木ヒルズオープン	
・日本郵政発足 ・東国原氏、宮崎県知事に就任 ・東京ミッドタウンオープン		・狂犬病で60代男性が死亡(国内で36年ぶり) ・トリノ五輪開催 ・神戸国際空港開港	・愛地球博開催 ・京都議定書発効 ・個人情報保護法 ・ロンドン同時爆破テロ ・小泉内閣発足 ・道路公団民営化	・鳥インフルエンザ発生(国内で79年ぶり) ・アテネ五輪開催 ・新潟中越地震	

2009	2008	2007	
・最新式超音波検査機(エコー)導入 ・クライオサージェリー(凍結療法)開始 ・最新超音波スケーラー導入 ・犬猫用比重計を電子式に ・ピカップ(特殊な耳鏡)導入 ・スチーム消毒器導入 ・待合エアコンをプラス ・プラズマクラスター発生器設置	・電子内視鏡導入 ・最新眼圧計導入 ・歯科器具、皮膚検査用具を充実 ・手術時の機材、方法を改善、充実 ・洗濯機を最新式に ・イスがIKEA製に ・院内のガラスをUVカットに	・ター購入 ・ロールカーテンを新調 ・スタッフルーム、在庫スペース確保 ・聴診器を最新型へ	ハード(施設など)の変化 ソフト(中身・システムなど)の変化 世の中の出来事
・獣医師1名増員(樋口先生) ・火曜日を9時〜12時、14時〜17時で診察開始(定休日なし) ・犬ワクチンの種類増加(5〜8種に対応) ・慢性病チェックシート拡大 ・院内マニュアル再製作 ・専門本購入(皮膚、薬理、外科、看護、眼科、内視鏡、血液学、中毒、画像診断、皮膚、救急、手術etc…)	・獣医師1名増員(門田先生) ・香港で行われた世界獣医皮膚科学会に参加 ・各種病気に對する遺伝子検査導入 ・甲状腺検査の値下げ ・未登録飼主様の初診代500円アップ ・院内プリント増加 ・慢性病チェックシート導入 ・専門本購入(中毒、画像診断、皮膚、手術、救急、手術etc…) ・オマケ配布色々(略) ・院外用便尿お手入れセッティング ・坂根克介様(画家)より絵を寄贈される	・集団ワクチン接種値下げ ・毎月のインフォメーション配布開始 ・コンベニア(抗生剤の注射)導入 ・専門本購入	
・アメリカ大統領にオバマ氏就任 ・裁判員制度開始 ・ゼネラルモーターズ破綻 ・マイケルジャクソン急死 ・改正臓器移植法 ・民主党政権発足 ・ドバイショック	・洞爺湖サミット ・北京オリンピック ・リーマンショック ・日経平均株価一時7000円割れ		

2011	2010	2009	
●入院室に棚を設置 ●診察が中央の台でも可能に ●駐車場増加(通り向かい)	●デジタルレントゲン導入 ●手術用拡大鏡導入 ●最新尿phメーター導入 ●最新の耳鏡導入 ●IDチップの挿入・読取が可能に ●診察室エアコンを最新型に ●移動用貸出担架購入 ●強力な掃除機購入(掃除法も改善)	●ネコ捕獲用特殊網購入 ●ドッグバーンキング設置 ●奥の診察台に荷物置き設置	ハード(施設など)の変化
●獣医師1名増員(得丸先生) ●日曜、祝日、火曜の午後の診察開始	●レボリユーシヨン犬用、全サイズ対応 ●院内用ゲーム、マンガ、犬のしつけ本、DVD、CDなど増加 ●予約用シール、メモ作成 ●オマケ配布色々(略)	●ポイントカード作製 ●病院パンフレット・DM作製 ●アンケートボックス設置 ●院内掲示を分かりやすく ●予約表改善 ●皮膚の論文を掲載 ●犬の殆どの遺伝子病が検査可能に ●慢性病薬価値下げ ●初回注射代一部値下げ ●院内プリント増加 ●良質でお手頃なシャンプー追加 ●往診・送迎体制を確立 ●配布カレンダーに花を追加 ●血液検査結果表改定 ●専門本購入(皮膚、総合診断、腎、鳥、腫瘍、血液学etc.) ●院内ゲーム、マンガ増加 ●しつけDVDシリーズ増加 ●宮崎県口蹄疫被害に30万円寄付 ●オマケ配布色々(略)	ソフト(中身・システムなど)の変化
●東日本大震災、なでしこジャパン、ワールドカップで優勝	●宮崎で口蹄疫 ●バンクーバー五輪開催 ●探査機「あかつき」が、金星到着 ●ドバイに世界一の高層ビル「ブルジュ・ハリファ」オープン		世の中の出来事
2012	2011		
●タブレット・新パソコン導入、LAN化 ●鉛カーテン新調 ●インキュベーター購入 ●大型エコー台導入 ●輸液ポンプ増台 ●マイクローエンジン新調 ●その他色々(階段滑り防止、貸出ゲージ、体重計、保温器増台、待合の絵を新調、傷保護スーツ)	●血圧計導入 ●最新抜歯チップ導入 ●病院入口ドアにストッパーを設置 ●階段に滑り止めを設置 ●イスにクッション追加 ●空気清浄機増加	ハード(施設など)の変化	
●新しい皮膚科認定医に！ ●院内でエコー講習会 ●各報告書リニューアル ●健康診断書配布 ●京都市動物愛護センターに10万円寄付 ●ペットの雑誌に載りました ●ホームページリニューアル ●新アンケート開始 ●猫用ワクチン最新に変更 ●秋の健康診断開始 ●新しい3色管理カルテ導入 ●本・DVD等(行動療法、救急、皮膚、薬理、細胞診、膀胱手術、待合の本色々) ●歯磨きガム常に2割お得に ●ネットセミナー閲覧可能に ●オマケ配布色々(略)	●論文を専門誌に掲載、学会で発表 ●使い捨て耳鏡チップ導入 ●酸素レンタル体制確立 ●院内セミナー開始 ●検査センター増加 ●院長休日報告ノート作成 ●症例検討ノート作成 ●見積もり資料、各種病院のしおり改訂 ●エコー、レントゲン報告書作成 ●各種検査案内作成 ●マイクローチップ補助 ●日本獣医師協会に震災被害に対し50万円弱寄付 ●飼い主さんと協力し被害地にペットフード送付 ●オマケ配布色々(略)	ソフト(中身・システムなど)の変化	
●天皇后陛下冠動脈手術成功 ●金環日食広範囲で観測932年来 ●東京スカイツリー完成 ●ロンドンオリンピックで史上最多のメダル ●iPS細胞を作製した京都大の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞			世の中の出来事

二〇一二年とこの十年を振り返って



開業時に嫁のお腹にいた長男がもう十歳になろうかと言う歳になり、カメのプピちゃんは三十歳を超え、**本人は厄年真つ盛りの四十一歳になろうとしています**……時間の流れは本当に早くて楽しい面もあります。病院が十歳を超えると、一番思いうのは「ペットさんとの別れ」です。開業当初ピピチの0歳で来院してくれたワンちゃんネコちゃんが何と十歳（人而言えば五十歳半ば）で、元気な中にも老化が感じられるお歳になつてきています。更に、いかにペットの長寿が進んでいても、ウサギさんやモルモットさんフエレットさんの十歳は相当長寿で、ハムスターさんに至っては十歳になるのは不可能です。やっぱり短い様で長い年月です。



最初にある程度のお歳だった子は、ギネスを狙える様な元気な子も沢山います。が、やっぱり病気や寿命と向き合えないとダメなお歳になつてきます。益々責任を感じると共に、自分ももちろんですが、病院全体として成長をしないとダメだと痛感します。この十年では病院も自分も、システムとしても、成長は十分にできたと思います。ですが、逆に言うところ十年前はどうかだったの？」って感じで……そこは素直に「全然至りませんでした」と言うしかありません。

「行年五十にして四十九年の非を知る」「行年六十にして六十化す」という言葉が中国の古典『淮南子（えなんじ）』にあります。「五十歳生きてみて四十九年間はイマイチだったなあ」と思う。「六十歳になつたつて変化する」って感じの意味です。僕はそれらの言葉が大好きです。言い訳みたくですが、いつ振り返っても「まだまだだったなあ」と思える様にしたいです。そんなカッコ良い事も書

いてみましたが、開業してから明らかに後退した事があります。開業当初は若さとやる気と、そして今より莫大な借金のプレッシャー（苦笑）と支えるものがあり、逆に家族にはワガママを言える嫁だけで、子供も居なくて共に過ごす家族が少なかったりで「二十四時間三六五対応」を三年以上続けられました。ふと気が付くと半年休んでいない事も……まあ日常の仕事が今よりは暇だった事もあるのですが、非常に身を粉にして頑張っていたと思います。

今は診察時間が長くなり、そもそも時間外が減りましたが、昔ほどの献身さが足りないかと、正直思っておりま。申し訳ございません。これは過去に新聞に書いた様に、一度身体（と言うより精神面？）を壊く壊してしまつた事と、健康診断で「胸に腫瘍がありそう」とかトンデモ誤診を受けて（平成二十二年新聞参照）人生と仕事について非常に悩んだ時期を過ごした事が大きいのですが、**寄る年波からはこれからもヤンチャな程の心身の復活は期待できそうにもありません。だからこそ、チームで対応できる病院を作りたいと思つて**

ています。

さて、皆さんの病院とのお付き合いはそんな急患や、そもそも病氣も無く、毎年予防だけの方も多いと思います。そうやって健康に一生を過ごして頂くのが僕の理想ですが、人間と同じでどうしても体調を崩してしまふ事もあると思います。そういう時に備えておく事は何でしょう？もうすでに何かを備えておられる方はおられますか？

僕がまず大事だと思う事、それは知識です。何の予防が必要なのか？身体に良い食事は何か？危険な食べ物は何なのか？年代に応じてどんな注意を払って生活すれば良いのか？何かペットさんに合った本を一つ二冊は購入しているでしょうか？病院では貸し出しもしているのでは非ご利用下さい。食べてはダメなものをまとめたプリント等もありますよ！大切な家族だけれども、やっぱり人間とは違つた生き物であると言う事を自覚して、改めて勉強して知識を増やすのは非常に大事だと思います。その上で分かつた日常生活の注意を守りながら、基本的な予防（ワクチン・フィラリア・駆虫）を実行する事は大切な子たちの健康

を守つて長命にしてくれる事でしよう。

でも……適切な知識の上にも、正しい生活と予防をしても残念ながら長命になる事で色々な病氣と直面する事は、多くの場合避けられない事です。病氣の治療は僕らにお任せを頂くとして、その際には色々な検査が必須ですし、治療や手術にはお金もかかってきます。それに対してコツコツ貯金をする事は大切ですが、**貯金が目額に貯まる前に出費が必要になる場合も出てきます。それに対応するのが保険になります。**当院ではアニコムの窓口清算を行つておりますが、その他も百花繚乱と言う感じで各種動物保険が増えてきています。そのどれが良いのか？どのコースが良いのか？はパンフや保険会社への問い合わせで個々に考えて頂くとして……**実は多くの方が知らぬ間に保険に入っているところを知りましたか？**？そんな保険に入っていないよ、って多くの方が言われると思います。ですが、当院の方に限らず、きちんと動物病院に通っている方は保険に入っているのと同じなのです。それは……実はフィラリアやノミダニ予防などの各種予防をする事

なのです。でもこれは予防をするから保険みたいなもの、と言う単純な話ではありません。

色々な病気にいかかってしまった時に、診察して検査して処置を受けた後に思う事の中の一つとして「動物病院は高いなあ……」って感想があると正直思います。でもこれは本当でしょう。例えば超音波検査、これは一回三〇〇〇円が基本です。一見すると消費しているのはゼリーだけ、これは高い！となっても不思議はありませんが、あの検査に使用する棒の先の事をプローブと言うのですが、実はこれだけで一本で一〇〇〇二〇〇万円で、エコー検査機器本体全てだと一〇〇〇万近くなのです。もちろん値切って定価では買っていないませんが、それでも一回三〇〇〇円で利益を出そうと思ったら、ちょっと難しいのが現状です。何しろ検査する人と保定をする人の人件費もかかるし、勉強する為の書物代もかかります。病院の家賃も光熱費もかかります。同様にその他の検査をする為の機械、手術をする為の器具……何より多くかかる人件費、……と何かとコストがかかるのが現状です。だから値段が高

ても、ぼったくりでは無いんですね(笑)。ちなみに後半で出てくる二十の質問にも書きましたが、当院の治療平均単価は全国平均以下です。

ではボランティアでも無いのに、動物病院が色々な機械を導入しつつ、チーム医療を推進して治療のレベルを上げていける背景には何があるのか？……と言うとそれは赤裸々に言うところとそれは赤裸々に言うところと予防治療の利益な訳です。予防治療が普通の薬より利益率が高い、と言うよりも決まった事をしている他の機械などが不要でコストがかからない割に流れがスムーズで時間もかからない、と言う面が大きいのです。こうして予防はしてくれた子が病気になる、と言う第一義的な事以外に、実は動物病院が獣医療を本来の価格よりも安くご提供ができる基盤である、と言う第二義的な意味もあるのです。ですので、普通に予防を下さるだけで、国民皆保険まではいきませんが、皆で高い機械や珍しい薬、人件費などを広く薄く負担しあっている構図になっているのです。

りと対応の対価を頂く方向です。当院は「予防をよりお得に」「予防時にお得な事がある様に」してなるべく予防は予防で還元する方向をより進めなければと思います。十周年の改革もしました。

ですが動物保険が人間の保険の様に一般的でなく、そこまでは手厚くない現状では動物病院の基本的な構造は、予防で出た利益を一般診療に還元して、ただでさえ高い獣医療が高度化しても、なるべく必要な検査と治療を受け易くして頂ける方向にしていける事は基本的に変わらないと思います。ですので、もし予防薬がネット等で買える様になれば確実に獣医療の値段は上がるでしょう。

さて、この様に広く皆様に獣医療の先進化を享受して貰える様にしつつ発展してきた獣医療の世界には、一般病院にもCTやMRIが普及し始め、エコーはカソードプラー等上位機種は当たり前、麻酔・手術の機械は腹腔鏡も登場し……と、益々発展してきています。これは診断が確実になり、助かる命が増え、治療に負担が減る等の実績として、非常に良い面が多々あります。

しかし物事には二面性があります。この件も同様です。人間でも脳死移植や胃瘻チューブ(食べれなくなったら胃に直接流動食を入れる為のチューブ)を余命幾ばくも無い方にする事に対して議論が出てきた様に、高度化してきた獣医療が問題を引き起こしたり、飼い主さんの負担になってきたりしている面も増えてきました。すなわち余りにも高度化してきたペットの医療が、本当に本人(ペトトさん)にとつて幸せなのか？家族の一員とは言え、家庭が崩壊する位に経済的な負担を産んでしまわないのか？最善の治療ができない自責の念が真面目な飼い主さんを追い込んでしまわないのか？等です。正直言って、発展した獣医療に対応して、一般的に困難な治療方法や無茶苦茶レアな症例のケースにも万全な対応すべく求められる獣医サイドへの訴訟も増えており、そうなるとう本来の趣旨を超え、自己防衛的にも検査や治療が過剰になったりもします。人の医療でも国民皆保険が機能していなかったら……恐ろしいですよ。もちろん獣医療はこれか

らも発展していかねばなりませんし、発展していくでしょう。再生医療もどんどんと進むでしょうし、ロボット医療も入るでしょう。僕もそれは非常に大事だと思えますし、それに遅れない様にソフトもハードも発展させる事を頑張らないとダメだと思っております。

その一方で「こんな風にしたいんだ」と言う飼い主さんの状況や気持ちに対して「そんなんじゃないやダメー」って無碍に言うのでは無くて、どんな場合にも、例えばそれが獣医療の考えうるベストでなくても、飼い主さんが後悔しないでペトトさんが拔苦と楽を感じられる方法の様々な引き出しを沢山持つ事はもっと大事だと思っております。ベストの尊さを忘れないで、それをきちんと提示しつつも色々な形のベターを紹介し相談できる、知識も度量も広く大きい獣医師でありたいと思っております。さて次の十年で成れるでしょうか……ハッキリ言える事は十年後は絶対に今の自分よりマシ！って事です(笑)。





マップに載っている **CAFÉ&サロン一覧**

(場所や詳細は直接ご連絡を！)

喫茶パレット ☺☺☺☺☺ ベット同伴歓迎。静かでゆったりできる喫茶店です。 キャンパリアのさくらちゃんがお出迎えしてくれます。 075-643-2537	NEST ☺☺☺☺☺☺ 町家を改装したドッグカフェ、ショップ、トリミングサロンのお店です。 わんちゃんメニューが豊富ですので、飼い主さんと一緒に楽しめますよ。 075-212-0417	Inuhimo cafe ☺☺☺☺☺☺ カフェからお食事、お酒まで楽しめる豊富なメニューです。嬉しい割引もありますよ！ 京阪七条・清水五条より徒歩 10～12分 075-257-5516
SORAN BERRY ☺☺☺☺☺☺ その子に似合った可愛いかついいスタイルをお客様と考えます。値段等は聞いて下さいね。おしやれて美味しい！ 075-950-0005	ウィツシュのママ ☺☺☺☺☺☺ カットはもちろん、愛情一杯の一味違うペットホテルがありますよ。送迎あり。値段等は聞いて下さいね。 090-5240-7435 小倉さんまで	DOG CAFE ☺☺☺☺☺☺ 愛犬とでも一人でも楽しめます。手作りケーキとドリンクほっこりタイムを！！犬にちなんだ書籍やグッズもあります。 駐車場有。祇園祭りで賑う室町辺りです蛸薬師新町西入る！ 075-257-3865
K.T.Cクラブ・KIWI Dog' s CLUB ☺☺☺☺☺☺ 愛犬は家族の一員と考えるアヤハディオのしつけトレーナーで専門学校講師でもある方が、しつけ教室だけでなく木のケージのホテルでお預かりもしています。 藤森店：075-643-1614	Prinsess Fantasy ☺☺☺☺☺☺☺☺ トリミング・ドッグカフェ・グッズ販売・パピヨン専門ブリーダーもしています。トリミングの送迎もしていますよ。 下京区西七条 075-314-2739	cake café nine ☺☺☺☺☺☺☺☺ 町家カフェです。テーブル席・ソファでくつろげます。ランチタイム・カフェタイムを満喫。ケーキのテイクアウトもできます。 パス停「羅城門」前・近鉄東寺駅から徒歩 10分 075-662-3551

いざっというときに知っておくと便利!!

●ペットタクシー●

ペットポータークリッカー：0120-12-9193
TEKU TEKU：0120-939-819
ペット送迎倶楽部：090-9163-1124



●ペットシッター●

日本ペットシッターサービス：0120-12-3939
ポレポレ：075-201-8170
：080-5368-1590

	おんちせん × ニーグリ		お酒
	食事		ケーキ
	Cafe		うっ・たー
	トリミング ¹ ケド		不平等
	うっす		

ゆう動物病院 よく聞かれる、または
ぜひ知って欲しい20のQ&Aコーナー!!



(改訂二〇一三年版)

前回から新しいコーナーとしてQ&Aのコーナーを設けました。良く聞かれる事なので殆ど項目は同じですが、毎年色々と改訂されているので読んでみて下さいね。その他に質問したい事があればどんなスタッフまで聞いて下さいね!

Q①：駐車場は何台ですか？駐車場の注意は何かありますか？

A①：五台です。簡単なマップをご用意しています。
大型は離れの駐車場が止め易いと思います。南側離れは駐車場間違いが多いので黄色いブロックと「お客様用」の表示を確かめてお停め下さい。去年からは西側の離れ(病院真向かい)にも駐車場を確保しました。横断歩道は気をつけてお渡り下さいね。なお病院の前止めると違反切符を取られたり、事故られたりが多いので危険です。

Q②：優先予約って何ですか？予約無しでもOK?キャンセルできますか?

A②：優先予約はその時間帯三十分をその方優先にお呼びする予約です。日祝午後だけは完全予約制です。日祝午後の他は予

約は無くても良いですが、予約が無いと待ち時間が長くなる事があります。予約のキャンセルは自由ですが、なるべく早くに教えて下さいね。お呼び出し時にご不在だとお待ちの他の方が優先され十分遅れるとキャンセル扱いになり予約は取り消しになります。

Q③：先生の指名はできますか？

A③：指名は可能ですが、指名をすると予約しても順番を待つ事があります。ですので今回だけ指名とか、今回は誰でも良いとか、そういう使い分けも大丈夫ですよ。各先生のお休みは受付までお問い合わせ下さい。病院の予約・指名システム等をご説明するプリントもご用意しております。

Q④：どんなペットを診て



いますか？

A④：犬猫の他、エキゾチック動物ではウサギ・ハムスター・フェレット・モルモット・小鳥・亀等を診ています。エキゾチックの診察は院長だけでしたが、新しく可能な先生をお迎えする予定です。なお、診断は殆どできませんが、外科的な事や特別な事が必要ならば専門的な病院を紹介しています。

Q⑤：薬の形状は選べますか？どうやって飲ませたら良いのか教えて下さい。

A⑤：希望を言って頂ければなるべく合わせますが、薬の性質上どうしても無理な時もあります。分からない時は薬をあげる為のコツを直接お教えします。プリントや資料で詳しくご指導しますので気軽に聞いて下さい。補助の道具・オヤツもありますよ。一回打てば二週効く注射と言うのも最近出てきました。また去年から「お薬に関して」と言う案内文書を作りました。

Q⑥：手術はいつしていいですか？

A⑥：基本的には平日(月・水・土)のお昼です。急患等で止むを得ない時など、日祝や夜中にする事もあります。ただし時間外の手術はスタッフが必要ですのでいつでもできる訳ではなく、特別料金も別に必要です。またこの曜日が希望(特に土曜)！と言う場合には早め予約を入れる事をお勧めします。

Q⑦：病院でトリミングやシャンプーしていますか？

A⑦：治療に必要な毛刈りとシャンプーはしていますが美容ではしていません。近くの素敵なトリマーさんをご紹介する事は可能ですよ。

Q⑧：ホテルとかの預かりはしていますか？

A⑧：入院ケージも少なく、預かり業の申請もしていませんので、ホテルとしてお預かりはできません。通院されている慢性病の子は検査を兼ねて入院する事がありますが、あくまで救命等で入院が必要なお子優先します。お勧

めの素敵なホテルをご紹介します事は可能ですよ。
⑦と共にマップをご参照下さい。

A⑨：病院(院長)の急な休みはどうやって知れば良いですか？

Q⑨：ホームページトップ
[**http://www1.plala.or.jp/YU/**](http://www1.plala.or.jp/YU/)
や病院アドレス
[**y@doctor.email.ne.jp**](mailto:y@doctor.email.ne.jp)

から登録すると送ってくる毎月のインフォメーションでお知らせの他、毎月病院で配っている紙のインフォメーションにも書いていますが、事前にお電話でのご確認をお勧めします。

Q⑩：病院にあるお得な制度って？

A⑩：まず今年から年間予防パスポートができます。これによって様々な毎月お得があります。予防やフードにはポイントカードがあります。更にフー



ドはサンプルを沢山お配りし、予防薬は何個か毎にエコバック等のオマケや個数のプラス等があります。春秋の健康診断は恐らく日本でも有数の安さで行い易くし、今年からはエコーやレントゲンにおいても割引をしていく事になりました。

Q11 不妊手術の補助があると聞いたんですが？

A11 病院からはノラ猫さんにワクチンやウイルスチェックの回数により最大三〇〇〇円の補助をしています。市からは通常四月位に出ますが、行政の決める事なので予算や頭数は色々です。これは数ヶ月前から事前に予約される方が多いです。また完全な野良猫さんは保護事業が京都市で始められていますよ。

Q12 ゆう動物病院の値段は高いですか？

A12 一般的な動物病院よりは基本的に安いですが、これは年間の患者さんあ



たりの平均単価が全国平均以下である事からも分かります。また健康診断だけでなく通常の検査費用等も多くの病院を下回ります。更に様々な割引やお得がある予防等も同様です。ただし、病気になるって沢山検査したりすると高くなりますが、当院はそれをきちんとするので時には高い場合があるでしょう。もちろん検査の見積もりはご提示し、ご予算に制限がある場合は、その中でどうするか？を必ずご提案させて頂きます。治療方法も同様です。その場合にも僕らの力が試されると思っています。安心してご相談下さい。

Q13 フードはネットで買おうかな……安いし。

A13 確かに5%のポイント還元を考えると、サンプルの配布を考えるとネットが安い商品もあります。ですが、ネットと違う「正規品の安心」「フードのアドバイス」「同様に社製品も含めたサンプルの提供」「毎月のインフォメーション・動物イベント情報等のご



提供」「不良品の即時交換」……等々の対応、安心、お得があり、それらの多くはネットでは得られません。上記の通り、ネットでのフード購入の方には病院のアドバイスに当たる継続したアドバイスとサンプルご提供はできませんのでご了承下さい。

Q14 高齢でも手術ができますか？

A14 若い子よりも麻酔リスクが上がるのは避けられませんが、術前検査が問題無ければ可能です。また、通常は何か問題が有っても麻酔対応・術後対応をしっかりとすればリスクは減らす事ができます。その子に合わせた手術プランを立てて安全性を高めます。術前だけでなく春秋の定期検査で見守る事をお勧めします。ちなみに肥満も手術リスクが上昇しますので体重管理はしっかりと！

Q15 最近口の臭いが気になります……

A15 殆どが歯周病ですが、内臓の病気の事もあります。

す。一度ご来院ご相談下さい。当院では色々な歯のグッズを歯のケアの案内と共に用意しています。たまに冬などにキャンペーンもあります。また歯が原因の場合に多くは麻酔下のスクリーニング・抜歯が必要ですが、その詳しい案内もご用意しています。一ヶ月三月に三年以上の継続予防の方への三〇〇〇円の割引制度を致します！

Q16 最近水ばかり飲むんですが……尿量も多い気がします。

A16 暑いとかストレスでも飲水量も排尿量も増えますが、腎不全・糖尿病・ホルモン病・子宮疾患などの病気で増える事が多いので注意が必要です。特に痩せていたり食欲不振等はお早めに来院して下さい。春と秋の健康診断は特に安いのでお勧めです。とりあえず尿検査だけでもしましょう。尿は可能なら出している中間を衛生的に、かつ量は多めに採取し、早めに持参して下さいね。

Q17 猫ですが最近吐くのが多いかな？毛玉かな？

A17 毛づくろいで口に入

った毛が胃の中で毛玉になる事もあります。よく毛刈りやブラッシングをした上で便の中に毛を出し易くするフードやサプリメントをお勧めします。フードはサンプルもありますよ。ただし吐きが多いのは病気の事もあるので余りに酷いなら一度診察をしましょう。

Q18 トイレにしょっちゅう行きます。

A18 Q16の多飲多尿の病気でも起こりますが、膀胱炎の事もあります。でも膀胱炎よりもっと怖いのは尿道閉塞です。特にオスで排尿のポーズをしているのに全く出ない時などすぐに来院をしましょう。尿は丸一日出ないだけで腎不全になり死亡する事もあります。様子を見ている内にペニスを傷つける子も多いので一日を限度にご来院下さい。



Q⑱…救急・夜間対応はしてくれませんか？

A⑱…留守番電話のメッセージで「手術中につき対応不可能です…」と流れる時は全く対応できませんのでいかなる時も対応は不可能です。そうではない時はお名前・症状連絡のつく電話番号（非通着信拒否を解除）を入れてお待ち下さい。十分以内に返事が無ければ対応は難しいと思って下さい。

久御山の夜間動物病院は「0774-44-3139」

です。本当の意味での救急は凄く少ないのが現状です。当院は正月の休みの他は、殆ど朝から晩まで診察する体制になっています。なるべく早めに来院しましょう！ちなみに京都市による夜間動物病院が開始しました。僕はその設立委員会の一人です。良い夜間病院を作りたいのでご希望があれば何か伝えて下さいね。

Q⑳…お薬だけ欲しいんですが……

A⑳…病気の診断をお話だけで行うのは困難です。処方するのは診察後なのは当然ですが、更に法律

上も診察して初めて病気を診断してお薬が出せません。獣医師法で決まっている事で全ての獣医が守らねばなりません（です）のでネットでの販売は何回も摘発されています。当院で一度診察をしていただければ毎回診察をしないでも継続して出す事はできます。ただし定期的な診察はしましょう！



■診察時間のご案内■

火曜日の午後が平常通りで日祝の午後も予約診察します！

	平日	日祝
午前	9～12時	9～12時
午後	17～20時	12～17時完全予約

日祝午後は完全予約制になるのでご注意ください

年末年始等・セミナー等による不定休は
病院の掲示と毎月のインフォメーションや
ホームページのトップのトピックス欄をご参考下さい。

病院は基本的に無休ですが各獣医師の休診日は都度お確かめ下さい。

(2012年1～12月)



memo
手術記録

毎年同じなので来年からは手術報告の形を少し変えると思います。今年もちよつと手術に関してのメモ知識を書いてみました。

手術回数

一五一回

最高年齢

十五歳六か月のシーブリーさん

普通の不妊手術以外に、こんな手術もしています

二〇一二年までに下記の手術をしております。二〇一二年も下記の手術の幾つかをしております。

会陰ヘルニア・子宮水腫（猫）・会陰部尿道口ウ（の性転換）・膀胱結石・へ

ルニア（横隔膜・ソケイ・臍・腹壁・前恥骨靱帯）・腸切開（異物）・股関節脱臼整復・会陰切開ボリーブ切除・後肢断脚・垂直耳道切除・帝王切開・肝臓破裂整復・胆嚢切除・眼球摘出・膀胱憩室整復・卵詰まり取り出し・断指・フィラリア釣り出し・大腿骨骨折修復（タイイン法）・膀胱切除・大腿骨骨頭切除・前肢断脚・チエリーアイ整復・瞬膜フラップ・角膜放射状切開・ガマ腫切除・胃切開（異物摘出）・脱腸整復・ほぼ袋脱出整復又は切除・断尾・陰茎摘出・腸切除吻合術・骨盤整復・手首の腱の縫合・内視鏡による異物除去・眼瞼腫瘍切除・胆嚢破裂縫合・クワイオサイージェリー（凍結療法）・顎のう胞・胆のう十二指腸吻合術・前立腺と直腸固定術・脾臓摘出・内視鏡による生検・尿管フラッシュです。

手術でひとつ

避妊手術をしないからと言って、必ずしも病気になる訳ではありませんが、七歳を過ぎると特に色々な病気が増えてくる時期になります。婦人系の病気も例外ではありません。去年お書きした「乳腺腫瘍」は身体の外側で分かり易いのですが、身

体の中で起こる「卵巣腫瘍・機能異常」や「子宮水腫・子宮蓄膿症」は時に非常に分かり難くなります。日頃からの細かい観察眼が大切になりますので以下の点に注意しましょう。「元気食欲があるか？」「おりものは綺麗か？量は多いか？発情の期間は長くないか？」「多飲多尿は無いのか？」「よくお尻をなめていないか？」「吐いたり下痢をしていないか？」等です。変だな？と思ったら長く様子見をしないで早めに相談して下さいね！

*手術は新しい記録体制も順調で、必ず三人以上の人手をかけ、より安全・清潔・丁寧にできていると思います。本や器具や縫合糸もより良いものを搜して、積極的に導入しています。100%の安全な手術は有り得ませんが、それを目標に頑張ります。





2013年に入ってしまった事・これから予定している事など……

- *今年から常勤の先生とパートの先生とで、獣医師が2人増えます！よりレベルを向上させお待たせする時間が短くなる様にこれからも努力いたします。
- *念願の認定医になり、新しい世界皮膚科学会議の知見に基づく病院方針を決め、色々な用意をしました。あくまで普通の獣医ですが、皮膚ではよりお役にたてる様に更に頑張ります。今年は3月の皮膚科学会でまた発表をします。HPも更に改善します。獣医の専門誌にその認定医になる過程等が取材されて載る予定です。
- *在宅看護に向けて「酸素発生器」「貸出ケージ」「各種マニュアル」「点滴機の増加」をしています。最終的には救急車的なものに至るまでコツコツと整備します。
- *年間パス・ポイントカード等を整備しました。予防に関して更に様々なお得を考えます。
- *ハード面では日進月歩の医療機器の中でも血管シーリング(止血)をする器械に興味を持っています。更に情報を集め、有効な一台を選定し導入したいと考えています。
- *病院の面積をゆくゆくは広げたいのですが……こればかりは色々な縁ですね。今の病院でできる事をより精度を高く、より清潔に維持発展しながら縁を待ちます。



★毎月のインフォメーション配っています★

毎月病院スケジュール・イベント・最新商品・注意事項・豆知識等を載せたインフォメーションを新聞とは別に配っています。貰いに来て下さいね。載せる可愛い写真も募集していますよ！また情報量は減りますが、HP掲示とメールでの配信もしています。
y@doctor.email.ne.jp に登録希望メールをご送信下さい。更に！去年からホームページ <http://www11.plala.or.jp/YUU/> のトップページで簡単に休日情報などを毎月案内しておりますので是非ご覧下さい。



イラスト作製：スタッフ全員(サインを探してみして下さいね) マンガは院長です。

病院を 利用しましょう！



もちろん病気の診断と治療も大事ですが、普段から利用して頂きたいのは予防と飼育の相談です。予防というのはワクチンやフィラリアももちろんですが、肥満の管理など飼育の方についても、大きな事を未然に防ぐ観点から非常に重要な事になってきます。健康手帳にも大事な情報を書いていきますので読んで下さいね。

バックナンバー
 前回の号に興味がある方はホームページをご覧ください。
 何部かは病院に有る場合もあるの受付にもお問い合わせ下さい。
<http://www11.plala.or.jp/YUU/>

無料でご利用できるこんな得する事があります！
 院内プリントとサンプルの配布・しつけ等のDVD・本の貸出し・体重測定・口輪とカラーと手袋・捕獲網の貸出し・パウリシス……etc
散歩のときや季節の変わり目、色んな時に病院を利用して下さいね。

■病院に対するご要望・意見を待っています■

日頃からスタッフ一同、良い病院にする為に頑張っていますが、僕たちでは気がつかない事や至らない事もあると思います。そういう点を教えて頂ければ、勉強になります。院内にはお礼付きのアンケートもあります。

「365日・24時間診察してくれ」と言われても急には無理ですが、その様なご要望が飼い主様の必要としている病院像をつかむ事にもなりますので、どうか教えて下さい。



〒601-8432
 京都市南区西九条東島町 58-103

ゆう動物病院
y@doctor.email.ne.jp